



VII. 市民のみなさんとともに

すべての市民が地域において安心して安全な生活ができるためには、身近なところから福祉への関心と興味を持っていただくことから始まります。

神戸市の各地域では、これまでも、市民が自発的に行う地域福祉活動をはじめ、事業者やNPOなどによる支え合い活動などが先進的に行われ、さまざまな福祉に関する課題に取り組んできました。将来を通じて、これからも地域福祉が身近に息づいているまち＝神戸と誇れるように、市民・事業者・行政の協働と参画のもと、一人ひとりの知識と知恵と技術を活し、力を合わせ、人と人とのつながりを大切に育みながら、地域福祉の推進に努めていくことが大切です。

一人ひとりが福祉サービスの受け手であると同時に担い手でもあるという気持ちをもって、いま一度、みなさんが住んでいる地域の福祉にもっと目を向け、参加してみませんか。例えば、よく知られている募金をはじめ、身近なところでは近所の困りごとのお手伝いや声かけ、自治会などの地域住民組織の活動への参加、ボランティアやNPOの活動への参加などです。そして、より専門知識が活かせる福祉施設などで働くことも、福祉活動のひとつです。

できることから、少しずつでも、ちょっとした活動から参加し、続けてみましょう。そこから生まれる“力”こそ、人と人がつながり、市民が将来に明るい期待を持てる、安心・支え合いの市民福祉をつくります。

